

令和2年度 学力向上に向けた検証改善シート

尾道市立 向東小学校

全国学力・学習状況調査の活用

6年生 全国学力・学習状況調査の活用(11月)

教科	国語	算数
結果	66.3	61.4

1 課題

- 自分の言葉でまとめを考えたり、学習を振り返ったりすることが苦手な児童が多い。
- 次に生かすためにどのような方法で課題を解決することができたか等の次につながる振り返りをすることが難しい。
- 単元末テストにおける30%未満の児童が固定化してきている。

2 めざす姿

- 学びに向かう姿勢
 - ・質問したり、アドバイスしたりする。
 - ・まとめから新たな問いを生み出す。
 - ・生活で出会った場面を算数の問題として捉える。
 - ・既習を活用しようとする(学びがつながっていると知っている)。
- 基礎的な学力、スキル面
 - ・言葉と式・図を関連付けながら説明・表現する。
 - ・国語科、算数科の単元末テストにおける平均正答率が低学年90%、中学年85%、高学年80%以上。

3 めざす姿に向けた取組の具体

2学期の取組

- ・児童の振り返りの質を高めるために、振り返りを交流し、指導の仕方や評価の仕方について、指導の方向性をそろえる。
- ・学習過程の「深める」「振り返る」に焦点をあてた授業改善の方向性をそろえるために、指標を設け、月末に自己評価する。
- ・単元ごとにつけるべき力やテストで見取る力について各学年部で検討し、単元構成を練る。

検証

- ・振り返りの実態や指導方法についてや、授業改善の指標に関する研修を行い、継続的に指導者が自己評価を続けた。
【自己評価平均点:85%】
- ・単元末テストの結果を受けての分析を行い、補習をしたり、次の単元に生かしたりするようにした。
【低学年 国語:84.1% 算数:76.5%】
【中学年 国語:86.8% 算数:84.2%】
【高学年 国語:83.5% 算数:75.5%】

3学期の取組

- ・2学期に行った取組を継続する。
- ・授業改善を行う指標について、課題等をもとに見直しを行い、学習過程の「深める」「振り返る」における手立てをさらに工夫する。
- ・振り返りの視点とそれぞれの学年で求める主体的な姿を、ノートに貼ったり、掲示物にしたりすることで、児童とも共有できるようにする。
- ・標準学力調査の分析を行い、課題のある領域・問題については補充学習を行う。

検証

- ・振り返りの実態や指導方法についてや、授業改善の指標に関する研修を行い、継続的に指導者が自己評価を続けた。
【自己評価平均点:85%】
- ・単元末テストの結果を受けての分析を行い、補習をしたり、次の単元に生かしたりするようにした。
【低学年 国語:88.6% 算数:77.1%】
【中学年 国語:86.5% 算数:85.4%】
【高学年 国語:87.0% 算数:77.4%】

市学力調査

1年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	92.5	97.5

2年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	86.7	90.3

3年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	106	109.5

4年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	100	100.3

5年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	90.9	85.9